

○社会科 2年

日本の地域的特色と地域区分

(3) 自然災害と防災・減災への取り組み 担当 大場 将公

【活動の目標】

- ・災害が多い日本において行われている防災・減災対策について、「自助」「共助」「公助」のベン図を作成する活動を通して、今後の生活のあり方を考えることができる。(思考・判断・表現)

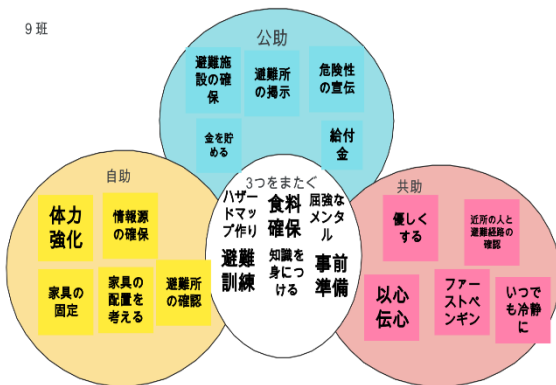
【 問 い 】

- ・「自助」・「共助」・「公助」について、自分の生活にあてはめてベン図を作成しよう。
- ・他者との意見交換で防災・減災のためにやるべきことを深めよう。

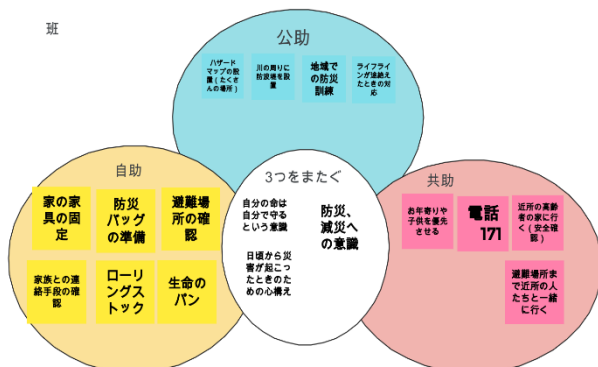
今回 ICT を活用した場面	従来への活動
B4 表現・制作 ・CB のジャムボードを活用し、各個人でのベン図作成を行った後、それを班で共有し、班でのベン図を完成させる。	・プリントに各個人の意見をまとめ、班で、模造紙にまとめるなどして意見集約を行い、ベン図を完成させていた。
C1 発表・話し合い ・各班から出たベン図を前のモニターで発表し、自分のベン図に付けた足しをして、考えを膨らませた。	・各班でポスターセッション形式の発表を行っていた。

【資料】 生徒が作成したレポート

9 班



班



【ICT 機器を活用する良さ】

- 自分の意見をすぐに書き入れることができる。
時間の効率化
- 他者の意見を手元で見れることから、思考の広がりにおいては有効であった。
- 保存されているので、復習や振り返りの際に有効な手段となりうる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・自分の意見と他者の意見のすみわけや見取りが難しいと感じた。思考の広がりや学習の変容を見取りたいと思っていたが、こうした点では課題が浮き彫りとなった。改善とまではいかないが、デジタルの場面とアナログの場面をしっかりと使い分けることが大切なのではないかと感じた。